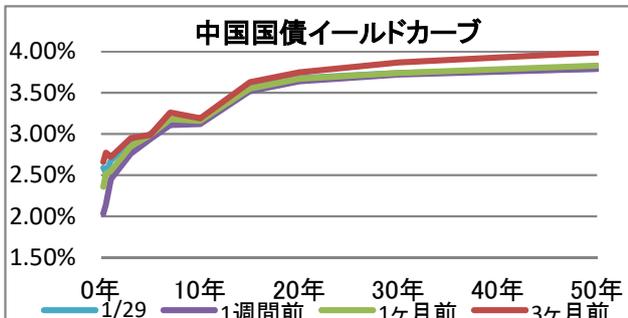
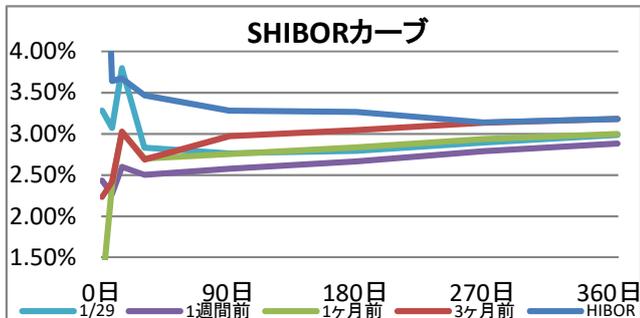


①市場概況

| 基準レート | | 2021/1/29 | (前週末比) |
|--------|---------|-----------|----------|
| 人民元基準値 | USD/CNY | 6.4709 | 0.0092 |
| | JPY/CNY | 6.2021 | -0.0386 |
| SHIBOR | 3M | 2.7650% | +0.1870% |
| 国債利回り | 10年 | 3.18% | +0.06% |
| 上海総合指数 | | 3,483.07 | -123.68 |



(1) 概況

米国株式市場が個人株主による投機的取引に翻弄されて不安定化する中、中国金融市場でも中国人民銀行の金融調節が多額の資金吸収となったことに伴い金融政策姿勢の変化への懸念が高まり、株安、債券安（利回り上昇）、人民元高となった。また、MSCIは国際株価指数から中国5社を27日以降除外することを公表している。

中国人民銀行は週初のMLF期日（2,405億元）に対して前週に1月期日分について対応済みとなっていたこともあって特段の調節対応を行わなかったことから、市場では資産価格上昇を懸念する中国人民銀行の金融政策の引き締め姿勢への変化と受けとめられ、春節連休を前に短期を中心に金利が急上昇する事態となった。

中国政府は、国有企業改革や経済活動における市場機能を高めるための対応を強化し、中国人民銀行は科学技術委員会を開催して金融デジタル化を含む2021年の重点業務を公表している。

第2回日中資本市場フォーラムが開催され、ETF相互上場や業界交流、監督相互協力等の推進が確認されている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日6,140億元とMLF期日2,405億元に対し、新規リバースオペ3,840億元を実施し、差引き4,705億元を供給している。これにより1/29の翌日物SHIBORは3.2820%と常設貸出ファシリティ（SFL）金利3.05%を上回る水準に上昇している。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

| | SHIBOR | 無担保資金 | レポ | NCD AAA |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ON | 3.2820% | 3.5000% | 7.0000% | |
| 1W | 3.0710% | 3.1900% | 4.5000% | 4.5000% |
| 2W | 3.7980% | 4.0000% | 4.0000% | |
| 1M | 2.8320% | 3.5400% | 4.5000% | 3.5000% |
| 3M | 2.7650% | 5.5000% | 3.5500% | 3.1300% |
| 6M | 2.7960% | 3.4000% | 3.5000% | 3.1500% |
| 9M | 2.8960% | | | 3.1000% |
| 12M | 2.9890% | 3.8500% | | 3.1500% |

金利水準が上昇しやすい春節を控えた1月末に多額の資金吸収を行ったことから短期金利が急騰しており、市場では資産価格の上昇を懸念する中国人民銀行が金利水準の上昇を容認していると受け止められて金融政策の引き締め転換への懸念が一段と強まり、金利水準は短期を中心に一段と上昇している。ただし、2月に入れば需給は改善すると見込む向きも多い。

NCDは、資金需給の悪化に伴う金利上昇懸念に加えて換金売りも多く、活発な取引が続く中で利回り上昇が続いた。ターム物の金利水準は、1ヶ月が3.50%前後、3ヶ月物から6ヶ月までが3.15%、1年が3.10%前後まで上昇している。

(2) 米ドル資金（本土内）

| | BID | OFFER |
|-----|-------|-------|
| ON | 0.01% | 0.02% |
| 1W | 0.04% | 0.05% |
| 1M | 0.12% | 0.13% |
| 3M | 0.30% | 0.35% |
| 6M | 0.45% | 0.50% |
| 12M | 0.65% | 0.70% |

春節休暇を控えているもののFRBの金融政策に変化もなく、資金需給は緩んでおり、金利水準は総じて低位で安定している。金利水準は、1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月が0.35%前後での取引が続いている。

③人民元債券市場

| | 国債 | 地方債AAA | 金融債AAA | 社債AAA | 社債AA |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 3M | 2.59% | 2.83% | 3.22% | 3.20% | 3.78% |
| 6M | 2.53% | 2.61% | 3.13% | 3.15% | 3.73% |
| 1Y | 2.68% | 2.70% | 3.11% | 3.19% | 3.80% |
| 3Y | 2.88% | 3.06% | 3.48% | 3.63% | 4.29% |
| 5Y | 3.00% | 3.19% | 3.65% | 3.84% | 4.57% |
| 10Y | 3.18% | 3.53% | 3.96% | 4.13% | 4.96% |

債券市場では、中国人民銀行の金融政策の引き締め転換を懸念する市場心理の悪化から資金市場金利が大幅に上昇したため、短期中心に利回りが上昇している。ただし、中長期については景気見通しに大きな変化はなく、債券需給の改善見通しもあって、利回りの上昇は限定的。

イールドカーブは短期金利の急上昇によりベアフラットニングが急激に進んだものの、クレジットスプレッドは信用債利回りの上昇により若干拡大する程度に止まっている。

④先物為替市場

| | USD / CNY |
|-----|-----------------|
| 1W | 50.0 / 65.0 |
| 1M | 176.5 / 179.0 |
| 3M | 473.0 / 482.0 |
| 6M | 850.0 / 856.0 |
| 9M | 1218.0 / 1225.0 |
| 12M | 1593.0 / 1597.0 |

対ドル基準レートは、6.4709と前週末比+92pipsのドル高元安、対円基準レートは6.2021と同-386pipsの円安元高での設定となっている。国内市場では、米ドル金利が低位で安定し、人民元短期金利が資金需給のタイト化により上昇したこともあって人民元が上昇しやすい状況となっており、6.45台まで人民元高が進んでいる。

先物は、人民元金利の上昇により、スワップ幅が拡大しており、1年物では1600まで拡大している。

⑤金利スワップ

| | Quarterly 7d Repo A/365 | Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360 | Annually O-N SHIBOR A/365 A/360 |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 3M | 2.68% | | 2.31% |
| 6M | 2.62% | 2.91% | 2.26% |
| 9M | 2.61% | 3.00% | 2.25% |
| 1Y | 2.63% | 3.08% | 2.19% |
| 3Y | 2.80% | 3.36% | 2.37% |
| 5Y | 2.96% | 3.54% | |
| 7Y | 3.07% | 3.68% | |
| 10Y | 3.21% | 3.85% | |

債券利回りの上昇に伴いスワップ金利も短期を中心に大幅に上昇しており、フラットニングが進んでいる。

債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、短期債の利回り上昇が換金売りもあってオーバーシュート気味になっていることから短期では縮小する一方、中長期では小幅ながら拡大が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入